

番組の特徴的場面

再就職で成功させた人が、勇気・希望が生まれたことと話していた時の顔

代リスでの成功例を模範とし、それを日本の社会制度にも生かしていくこと。

失業率を低下させるための代リスの挑戦

番組の特徴的場面

様々な苦悩の末、大和運輸が「大成功」を遂げた場面

大和運輸の挫折から成功までに至る過程とそれに関係してくる人間ドラマを映し出すことで、私たちに伝へることや努力を積み重ねることの重要性を説くという意図。

大和運輸による、物流革命への挑戦 - 運送会社の逆転ドラマ -

制作意図

テーマ

内容・視点

展開

演出

問題

福祉手当に依存して、働かない人が存在する現状

ワーキングリール(就職支援会社)

による、再就職のためのバックアップ

社会全体にメリット

- 福祉手当にかかる費用の削減
- 失業率の低下
- 再就職者に希望を
- 会社に利潤

具体的には... カウンセリング→投資→アフター

番組後半

専門家意見: 働くための福祉 → 労働の義務化が必要か?

NGO

企業の

誰も損しない福祉

日本にも反映できればいい

今後希望

感情的というよりは構造的な、淡々とした進め方。事実そのものを俯瞰的な視点から論理的かつ合理的に理解させた。

ストーリー性のある構成、感情的な部分を重視し、当事者の内面にスポットをあてる。

◎ 可部線はなぜ廃止された? 民営化の過程と原因を知ろう

前提

公平性を追求すると、交通ネットワークは網の目型になる(国鉄)

可部線の廃止はなぜ? 網の目型廃止の理由

資料・データ確認 → 事実・傾向の抽出

資料と踏まえた生徒の意見
・過疎地域の電車では利益が出ない
・他の乗り物へ移った
・古いから新しくする(廃線の意見と認識)

◎ 解答

交率化を求めたために無駄を省き、利益を獲得しようとする「株式会社」としての鉄道会社の施策

網の目型 → ハブ・スポーク型への変化

資料・データを用い、生徒たち自ら考えさせること重視する

授業のヤマ場

いくつかの資料を生徒に読み取らせ、廃線の理由の解答を導かせたところ。

学力・目標

MQ

内容・視点

展開

指導法

◎ 生き方の学習(こういう生き方もあるんだよ → 視野の拡大)

被害を受けた後の人間はどのように生きる?

テロの発生

アメリカ
やられたらや返せ!
そだそだ! (生)

水保のみな
身近な例(みかん)が被害の影響。現地の人の想い伝えている
「被害者が加害者にならなければいい」

同じ考え方

アメリカ
被害者が加害者になった
水保の人たちとは違っていた...

広島
原爆投下被害者増加を防ぎたい。同じことを繰り返さない!
(生) アメリカと違う...

授業に簡易な通ったストーリー性をもたせることで、生徒たちに納得させる

グループワーク等で自ら主張を明確化、自分の意見と一致の相違の意識をはっきりさせる。視野の拡大もねらう

授業のヤマ場

水保の人たちの考え方(生き方)を紹介した後で、「さて、初めに言ったアメリカとの違いは何ですか?」 (生) (...は、気づき)